

第5回三重県議会 トップセミナー

三重県議会トップセミナーは、議員の政策形成能力の向上を図り、県議会での政策議論の充実や深化につなげていくことを目的に開催しています。

第5回は平成33年第76回国民体育大会の三重県開催が内々定されたことを受け、2010 FIFAワールドカップ日本代表に同行した高地トレーニングの専門家である三重大学教育学部教授の杉田正明氏から、「三重県におけるスポーツ振興策について」をテーマにご講演をいただきました。

セミナーでは、競技者を発掘・育成するためには、地域でスポーツをする人を増やし、地域にしっかりとスポーツの土壌をつくるのが大切であることや、競技者にとって優れた指導者の存在がいかに重要であるかなど、国内外の事例を交えながらご提案をいただきました。

議員からは、競技者を育成する上で、指導者自身の考え方や指導の方向性を一本化する必要がある、他県ではどのように取り組まれているかなどの質問がありました。

紀伊半島三県議会 交流会議

8月8日、紀宝町において、紀伊半島三県（三重県、奈良県、和歌山県）議会による、第6回紀伊半島三県議会交流会議を開催しました。

会議では、各県議会から紀伊半島大被害からの復旧状況について報告を行うとともに、観光などの復興・振興の在り方などについて意見交換を行い、各県議会議員の連携・交流を図りました。

なお、紀伊半島では今後、歴史的な記念行事が毎年続くことから、これを好機ととらえ、紀伊半島大被害からの一層の復旧・復興に向け、甚大な被害を受けた世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」の各所に、さらなる人的支援、財政支援の充実を求める要望書を国へ提出することに ついて、三県で合意しました。



現地視察の様子(紀宝町)

近畿2府8県議会 議長会議

8月27日、志摩市において、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、滋賀県、福井県、徳島県、鳥取県および三重県の各議長が一堂に会し、近畿2府8県議会議長会議を開催しました。



議長会議の様子

会議では、昨年発生した紀伊半島大被害や東海・東南海・南海地震などの同時発生に対応した関連議案が多く見受けられたことから、「南海トラフ巨大地震等大災害への対応」について意見交換を行った後、「痛ましい交通事故の根絶に向けた立法措置と交通安全対策の強化について」ほか15件を議決し、国に対して要望を行うこととしました。

「平成24年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」等に関する申し入れ

8月1日、予算決算常任委員会および各行政部門別常任委員会から知事に対し、「平成24年版成果レポート」に基づく今後の「県政運営」などに関して次のとおり申し入れを行いました。

①防災・減災対策について

紀伊半島大被害からの復旧・復興については、引き続き、最優先の課題として取り組まれるとともに、南海トラフ巨大地震など大規模災害に対しては、国の動向も踏まえながら、新たな防災・減災対策に取り組みなど、迅速かつ適切な対応に努められること。

②財政運営について

極めて厳しい財政状況ではあるものの、本年度からスタートした「みえ県民力ビジョン」を着実に推進するため、歳出の見直しや歳入確保の取り組みをさらに進めることで、必要な財源の確保に努めるとともに、中長期的には県債残高の抑制に努め、持続可能で健全な県財政を確立されること。